

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和元年 9月 4日号

鳥栖市立麓小学校

校長 西川 哲也

TEL 0942-83-2013

<http://cms.saga-ed.jp/hp/fumoto-e/>



平和ってどんなことだろう



集会委員会の読み聞かせ

8/30(金)、朝の時間に全校で「平和集会」を行いました。

まず、集会委員会の児童による読み聞かせがあり、「ぼくのこえがきこえますか」(田島征三 作)と「へいわってどんなこと」(浜田

桂子 作)という2つの絵本が紹介されました。どちらも、1ページ1ページは短い言葉で綴られた絵本でしたが、戦争は悲しくて、つらくて、間違っているということ。そして、ごはんを食べたり、遊んだり、眠ったり、友達になったりといった当たり前のことをできることが平和なんだということを感じさせてくれました。

そのあと、音楽委員会の伴奏で「世界がひとつになるまで」という歌を全員で合唱しました。

この内容を受け、私からは次のようなことを子供たちに伝えました。

なぜ戦争なんてするんでしょうか。

その答えは、ちょっと難しいかもしれませんが、校長先生は、子供の皆さんにもきっと分かることではないかなと思っています。というのは、皆さんのクラスは、みんななかよしで、どのクラスもいいクラスだと先生は思っているけれど、それでも気に入らないことがあったり、頭にくることがあったりすると、けんかになることがあるでしょう。

そういうとき、どうですか。「腹がたつ。あんな子、いなかやいいのに」と思うことはありませんか。人間、思うのは仕方ない。あとで「ああ、変なことを思ってしまった。」と反省すればいいんです。でも、思うだけではなく、それを態度に表したり、表情に出したりすることはありませんか。もっとひどければ、そんなことを口に出したり、相手を叩いてしまったりしてしまうことはないでしょうか。

そういうことをしてしまうような心が、戦争に結びつくのだと思います。一人と一人とならけんかだけれど、それが国と国のけんかになって、「腹が立つ、あんな国なくなればいいのに」と思ってしまったり戦争になってしまうんですね。

だから、今のみんなは、どんな人ともけんかをしないで、仲よくできること。それがとっても大切なんだと思います。今日は、そんなことを考えさせてくれる集会でした。



音楽委員会の伴奏による合唱

スマホ・ケータイ安全教室

8/30(金)の5校時目には、人権擁護委員さんとNTTドコモのインストラクターの方に来ていただき、6年生を対象に「スマホ・ケータイ安全教室」が行われました。

子供たちは、多くの子がインターネットを利用しているという状況の中で、正しい使い方を知ることやルールやマナーを守ることがどんなに大切かということ、そして、それが自分や周りの人たちの人権を守ることにつながるということを学ぶことができました。



詩吟の授業（教科「日本語」）

5・6年生は、8/27(火)と8/30(金)の2回に分けて、総合的な学習の時間(教科「日本語」)の中で、詩吟の学習を行いました。講師として、立石町在住の渡辺孝保様御夫妻を迎え、『春望』(杜甫)という漢詩の詩吟を聞かせていただいたり、尺八にあわせて詩吟を詠わせていただいたりしながら子供たちは、古くから日本に伝わる漢詩の世界の味わいにふれることができたようでした。授業の中では、声の出し方の基礎訓練もご指導していただいたので、今後の学習にも生かしていくことができそうです。



秋の大運動会に向けて・・・

今、各クラスでは秋の大運動会に向けて、リレーの選手決めや応援団の選出、歌の練習などが着々と進んでいます。

先日、児童会で行われた代表委員会では、今年の大会テーマが次のように決定されました。

**協力し 優勝目指して
ベストをつくす 麓っ子**

子供たちの気持ちも徐々に高まってきているようです。今年は麓っ子のどんな活躍が見られるか今からとても楽しみです。